

アスベスト大気濃度調査結果について（平成 21 年度）



環境省は、石綿による大気汚染の現状を把握し、今後の対策の検討に当たっての基礎資料とするとともに、国民に対して情報提供していくため、大気中の石綿濃度の測定を平成 17 年度より毎年実施しており、今般、平成 21 年度の結果を取りまとめました。

概要は、以下の通りです。

1)調査地点(全国 50 地点 142 箇所)

旧石綿製品製造事業場等、廃棄物処分場等及び建築物の解体工事等の作業現場

2)測定方法 「アスベストモニタリングマニュアル(第 3 版)」

3)調査結果

石綿の飛散が懸念される解体現場等の敷地境界：石綿繊維数の幾何平均値 0.06～0.10 本/L

※大気汚染防止法に基づく石綿製品製造工場に対する敷地境界基準：10 本/L

総繊維数が高かった地点(愛知県内の解体現場)における追加調査結果

敷地境界：総繊維数 0.28～8.1f/L、クリソタイル ND(不検出)

前室付近：クリソタイル 1500f/L、アモサイト 69f/L

排気口付近：クリソタイル 1200f/L、アモサイト 180f/L

※上記については、環境省から所管自治体に連絡し、所管自治体においても再度、敷地境界で大気濃度調査を行い、アスベストによる大気の汚染が無いことを確認しています。

石綿による大気汚染の状況を把握するため、平成 22 年度も引き続き大気環境モニタリングを行う予定です。なお、モニタリング方法については、平成 22 年 6 月 10 日にアスベストモニタリングマニュアル(第 4.0 版)が公表されたところですが、今後のさらなる知見の充実や技術の進歩に向け、検討することとしています。

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気、建材製品ともに A ランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 2010 年 7 月 16 日付 環境省報道発表資料

化学分析箇所 守屋貴志